令和8年度沖縄「三重の塔」戦没者慰霊式
式典の様子

1　式典の様子



施設改修後初となる戦没者慰霊式を執り行いました
約90名の来賓、遺族等にご参列いただきました

2　式辞（三重県知事：一見勝之）



「戦争を知る世代が年々少なくなる今だからこそ、記憶の風化を食い止め、一人ひとりが平和のありようを我が事として考え、次の世代へ、さらにその先の未来へと語り継いでいかなければなりません。平和を願う歩みに、終わりはありません。歴史に学び、命の尊さと平和の重みを語り継ぐことを、ここにお誓い申し上げます。」

３　追悼のことば（三重県遺族会　会長：伊藤早苗）



「私たち遺族は自らの体験を通し、小・中学生の平和学習の場において、平和の大切さ、命の尊さ、そして戦争の悲惨さを伝えております。現在の平和な日本を守り、二度と戦争を繰り返してはならないという思いから、語り部としての活動を続けております。これからも力を尽くしてまいりますことをここにお誓い申し上げます。」

４　追悼のことば（三重県議会　議長：藤田宜三）



「平和への思いを風化させることなく、次の世代へ受け継ぐ環境づくりに邁進しております。県政の一翼を担う者として、戦争でお亡くなりになった方々への想いを胸に刻み、世界平和の実現に向けた不断の努力を重ねてまいりますことを、ここに堅くお誓い申し上げます。」

5　追悼のことば（遺族代表：遠藤貞幸）



「私たち遺族は戦争の悲惨さや家族の苦しみ・苦労、母の苦労は身をもって知っております。今後についてもいかなる時も戦争は絶対にダメです。」

6　継承の誓い（近畿大学工業高等専門学校：生悦住一樹、稲森巧都）



「私たち若い世代には、過去を知り、その記憶を受け取り、次の世代へつないでいく責任があるのです。平和を願うだけでは終わらせない。私たちの行動で、次の世代へつないでいく。その覚悟がいま、私たち若年世代に問われています。」